

---

# 迷宮の出口

遊楽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

迷宮の出口

### 【著者名】

N4679A

### 【作者略】

遊楽

### 【あらすじ】

…俺はいつも思う。出口はどこにあるのか？何がしたいわけでもなく、何かをしなくちゃならないわけでもない。でも、このままではいけないのはわかっているんだ。…だから、出口を探している。

繰り返さ

れる毎日。

見つからぬ答え。

出口を探している俺。

『眠い』

そう想いながらも、俺は日が覚める。

…正確に言うと狸寝入りをやめる。

寝ようと努力するのだが、日をつむるだけで意識は現実にある。

らいな また昼寝になるな

』

のは簡単だらう。ただ、夜寝て日は起きていればいいんだから…。

…でも、できない。

なぜ？ と聞かれても答えられない。

わからないから…。

昼寝は約四時間ぐらい。

よくそれだけの睡眠時間で保つていてるなど思つていてる。

今は春休み。

しかし、実感はない。

学校は通信制。

…いい加減でもかまわない。

単位だけとつて、あとは休み。

一般的には楽といえるだらう。

だが、俺は疲れる…。

普通の公立高校についたときと違う疲れ。

自分が置いていかれる不安、自分が進んでいない焦り、自分だけが止まっている感覚……。  
疲れる……。

『おはよー!』

そう思い、俺は両親に目線を向ける。両親もあいさつする、声をだして。両親は俺のことをどう思っているのだろう?母さんは俺が気付かないと思っているのだろうか、母さんの深いため息を聞いていることを……。父さんは知っているのだろうか、父さんの俺を見る目を……。

俺は出された朝飯を食べ、また自室へ行き、本を読む。物語は夢と同じ。努力しなくとも、幸せな気分になれる。最近は、夢はみてないが……。現実から、目を背けるとわかつていて繰り返す行為。本を楽しむためではなく、現実から逃げるために使う。

……眠くなつた。

俺はしばらくして、掛け布団をかけて寝た。

。

夢など見

れない。

ただ、目を開くと夕方。  
ぼやける日をじすつて、体を起じす。  
そして、自問自答。

『俺

は何をしている。

何がしたい。

行動をおこせ。

どんな

?』

俺は考えるのをやめるしかない。

意味がないのはわかっているから。  
答えはいつも出ない。

……少し早い晩飯。

味はうまいのかもしれない。

だが、俺には毎日と、全然変わらない味に思える。

テレビを見ながら、飯を食いつ。

……おもしろくない。

隣で、母さんが笑っている。

ふつと思つた。

『俺は最近笑つているだらうか

？』

。 。

』

俺

は決めた。

笑つために……。

自分を喜ばすため、自分を楽しませるため、行動することを……。

その材料を探すことを……。

そして、その場にいる両親に顔  
を向ける。

「……俺、大学に行くよーーー！」

4

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4679a/>

---

迷宮の出口

2011年1月27日15時05分発行